

2024年度 環境経営レポート

Environmental Management Report 2024

<2024年4月－2025年3月>



エコアクション21[®]
認証番号 0013423



わたしたちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

発行日：2025年7月1日



私たちは、お客様満足の実現と環境配慮を意識し、
たゆみない技術開発・技術向上を進めてまいります。

代表取締役社長

山崎 泰三



ミスズ工業は、1965年の創業以来、精密加工技術と半導体実装技術を柱とし、お客様が求める高精度、高品質な製品づくりに取り組んでまいりました。しかし、現代社会がめざましく変化する中で、産業技術のあり方も大きく変貌しています。高度な機能、精度、品質が希求されると同時に商品のライフサイクルは短縮され、従来のものづくりにとらわれない発想やフレキシブルでスピーディーな対応力が強く求められています。マーケットインの視点に立ち、自らの持つ要素技術を複合させ、お客様に役立つ付加価値創造を提案することこそが私たちの使命です。そのために私たちは、精密部品事業、精密組立事業、ロボティクスソリューション（RS）事業という3つの事業領域を基盤とし、その事業ドメインを「クリーン＆ファインテクノロジー」と位置付け「細密」「複合」「スピード」をキーワードとして、技術・施設・環境・体制のあらゆる面から、お客様満足を実現する企業づくりを推し進めていきます。

私たちは、お客様満足の実現、環境配慮を意識し、たゆみない技術開発・技術向上を進めます。



Contents ～目次～

(01) 会社概要	1ページ
(02) 工場所在地／会社沿革／事業紹介	2ページ
(03) 環境経営方針／環境管理体制	3ページ
(04) 2024年度 環境経営目標・計画・結果・評価	3ページ
(05) 省資源・省エネ活動実績	4ページ
(06) 環境関連法規制の遵守状況	4ページ
(07) 代表者による評価と指示	5ページ
(08) 2025年度 環境経営目標と活動計画	5ページ
(09) 環境経営計画（中期計画）	6ページ
(09) SDGsへの取組	7ページ
(10) 環境活動	7ページ



Company Profile ～会社概要～

社 名：株式会社ミスズ工業

代表者：代表取締役社長 山崎 泰三

責任者：環境管理責任者 経営管理部長 前川 隆幸

創 業：1965年4月1日

資本金：1億円

事 業：■精密部品事業（プレス金型の設計・製造、プレス部品・精密部品の製造）

■精密組立事業（精密部品の組立、COF＜Chip on Film＞の製造）

■自動化技術推進事業（装置設計・製造、装置受託組立）

U R L : <https://www.miszu.co.jp/>

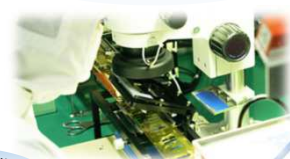


ミスズ工業
ホームページはこちら

精密部品事業



精密組立事業



自動化技術推進事業





Factory Location ~工場所在地~



60th Anniversary
1965-2025

※従業員数は2025年4月1日時点

本社・諏訪工場



1964年 創業

長野県諏訪市四賀3090

従業員：130人

- ・金型設計～製造
- ・精密プレス部品製造
- ・表面処理
- ・精密部品組立

岩手工場



1990年 創業

岩手県北上市北工業団地1-15

従業員：117人

- ・精密プレス部品製造
- ・表面処理
- ・COF実装

大阪営業所



2006年 開設

大阪府吹田市江の木町 17-20

バルムハウス江坂 205号

従業員：1人

箕輪工場



1984年 創業

長野県上伊那郡箕輪町中箕輪1536

従業員：44人

- ・装置設計～製造
- ・装置受託組立
- ・精密部品組立

※グループ会社

中国：明思作機電（無錫）有限公司

香港：ミスズ工業（香港）株式会社



Corporate History ~会社沿革~

- 1964年：前身の 山崎精器株式会社 設立
- 1965年：株式会社ミスズ工業 と改め、創業
- 1984年：箕輪工場 創業
- 1990年：株式会社東北ミスズ 創業
⇒2002年合併し岩手工場とする
- 1998年：ISO9001認証取得
⇒2013年社内システムに切替
- 2001年：ISO14001認証取得
⇒2013年社内システムに切替
- 2003年：明思作機電（無錫）有限公司 設立

- 2006年：大阪営業所 開設
- 2015年：創業50周年
- 2018年：ISO9001認証再取得
- 2019年：ミスズ工業（香港）株式会社 設立
- 2021年：エコアクション21認証取得
- 2022年：長野県SDGs推進企業制度登録
- 2025年：創業60周年



Business Introduction ~事業紹介~

精密部品事業

- プレス金型の設計・製造
- プレス部品・精密部品の製造



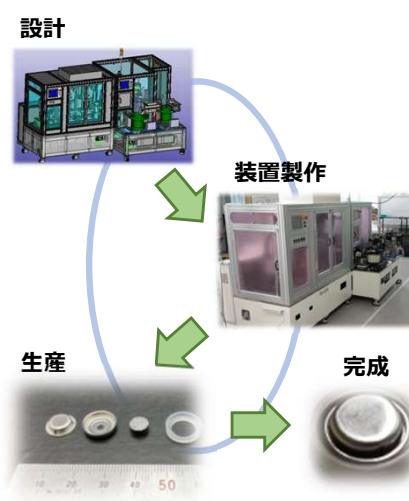
精密組立事業

- 精密部品の組立
- COF<Chip on Film>の製造



自動化技術推進事業

- 装置の設計・製造
- 装置の受託組立





環境基本理念

当社は、社員・会社・社会の“三社成長の精神”と法令・規制遵守を基本とし、SDGsを踏まえた「環境にやさしい企業活動」により、広く社会に貢献します。

環境方針

当社は、環境基本理念にある「環境にやさしい企業活動を行う」に基づき、継続的な環境に配慮した企業活動を行う事で環境保護および汚染防止を推進します。

- (1) 当社に關係する環境法令および規制を順守します。
- (2) 当社が行う全ての企業活動において、環境への影響を評価し、身の丈にあった目標を定め、活動を推進します。
 - ① 二酸化炭素排出量の低減を推進します。
 - ② 資源の有効活用と廃棄物のリサイクルの徹底を図ります。
 - ③ 環境に配慮した製品の提供・開発を図ります。
- (3) 環境活動を向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
- (4) 全従業員に対し、環境に関する教育および意識向上活動を実施します。

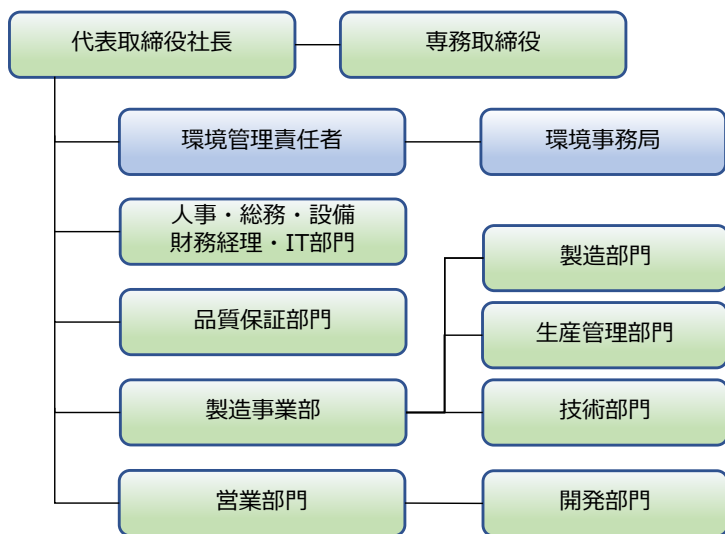
※環境方針は、文書により全従業員に周知させ、社外にも公表します。

2023年4月1日制定
代表取締役 山崎 泰三



環境管理体制

※エコアクション21認証及び登録対象範囲：全組織全活動



役職	責任 及び 権限
代表取締役社長	- 環境管理責任者の任命 - 環境経営方針の制定 - 環境マネジメントシステムの管理に必要な資源の準備、定期的見直しの実施 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境マネジメントシステムの確立、実施、維持、継続的改善、実施状況報告 - 環境関連法規制の遵守と教育訓練の実施 - 緊急事態への準備と対応訓練の実施 - 外部からの提案、苦情の受付
環境事務局	- 環境マネジメントシステムの事務局運営 - 環境関連法規制の維持管理と遵守評価 - 環境関連文書及び記録の作成、保管
部門責任者 全従業員	環境方針の理解と環境活動の実施



2024年度 環境経営目標・計画・結果・評価

2024年度環境経営目標および計画に基づいた結果とその評価は以下の通りとなります。

【評価基準… 取組が出来た：○ 取組が出来なかった：×】

目標	取組計画	取組結果	評価
・環境内部監査の実施	・2023年度内部環境監査を実施する	・2024/4/22～30実施 重大指摘事項なし	○
・2023年度活動結果を経営層に報告	・2023年度環境マネジメントレビューを経営層に報告する	・2024/5/20実施	○
・環境経営レポートの作成と公開	・2023年度環境経営レポートを作成する	・2024/6/17完成 エコアクション21事務局へ提出	○
・「エコアクション21」認証継続	・外部認証「エコアクション21」の中間審査を受審し、認証を継続する	・2024/8/6～7更新審査受審 2024/10/26認証継続決定	○
・環境関連法規、顧客要求事項の遵守	・環境法規制一覧表による遵守評価を実施する	・法規制一覧表による遵守評価の実施と最新法規制を確認	○
・環境に配慮した製品製造への取組実施	・環境に配慮した製品製造への取組を実施する	・製造部門を中心に取組を実施	○
・省資源、省エネ活動 前年対比原単位△1% ① 二酸化炭素排出量削減 ② 一般・産業廃棄物排出量削減 ③ 水資源削減	・インフラ機器の新規導入および更新は省エネ機器を選定する ・毎月の省資源省エネの実績を取り纏め、従業員に公開する ・環境目標および活動の進捗状況を確認し評価を実施する	・新規インフラ機器は省エネ機器を選定及び設置を実施 ・実績結果は各種会議にて報告し、従業員へ公開実施 ・活動結果を確認し経営層への報告を実施	○ ○ ○
・環境関連教育の実施	・新規採用者を対象とした環境基礎教育を実施する	・新規採用者（新卒・中途・派遣）に基礎教育を実施	○



2024年度環境経営目標における省資源・省エネ活動の目標値とその実績値は以下の通りとなります。

【評価基準… 目標達成：☀️ 目標未達：☔️】

取組項目（原単位算出方法）	目標	目標基準値	目標値	実績値	評価
①二酸化炭素排出量削減 （原単位＝使用工ネルギー原油換算kL／生産高）   	前年比原単位 1%以上削減	0.614	0.608 以下	0.574 (-6.51%)	☀️
◆全従業員による省エネ活動（節電アクション）の推進や、工場インフラ機器を省エネ機器へ更新したことなどにより目標達成することが出来ました。					
②一般・産業廃棄物削減 （原単位＝一般・産業廃棄物kg／生産高）  	同上	147.690	146.213 以下	141.980 (-3.87%)	☀️
◆全社的に前年比で廃棄物排出量を減らすことが出来ました。					
③水資源削減 （原単位＝水使用量m3／生産高）  	同上	9.437	9.343 以下	8.767 (-7.10%)	☀️
◆全社的に前年比で水の使用量を減らすことが出来ました。					

※2024年度CO2総排出量：3,673,278 kg-CO2（前年比-1.90%）

※CO2排出係数（kg-CO2/kWh）電気事業者別排出係数2018年度実績：

中部電力ミライズ：0.457 東北電力：0.522 関西電力：0.352



環境関連法規等の遵守状況

当社に関連する環境法規は以下の通りとなり、環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

【遵守状況判断基準… 法令遵守：○ 法令違反：× 対象なし：－】

法規制等	遵守状況	法規制等	遵守状況
大気汚染防止法	○	公害防止組織整備法	○
騒音規制法	○	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	○
振動規制法	○	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○
水質汚濁防止法	○	浄化槽法	○
下水道法	○	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）	－
消防法 （危険物に関する政令）	○	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法／PRTR法）	－
土壤汚染対策法	○	資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法＜リサイクル法＞）	○
毒物及び劇物取締法	○	使用済自動車の再資源化等に関する法律 （自動車リサイクル法）	○
特定家庭用機器再商品化法 （家電リサイクル法）	○	ポリ塩化ビニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（PCB廃棄物特措法）	－
地球温暖化対策の推進に関する法律	○	工業用水法	－
エネルギーの使用の合理化等に関する法律	○	工場立地法	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○	製品含有化学物質管理基準（当社基準）	○



2024年度マネジメントレビューに基づく、代表者による 全体の評価と見直し及び指示は、以下の通りとなります。

2024年度 全体評価	2025年度 取組の指示
環境経営方針について	・ 2023年4月1日制定方針からの変更なし
環境経営目標と計画について	・ 2025年度環境経営目標達成に向けた活動を実施すること
環境組織体制について	・ 経営管理部を環境推進部門とすることに変更なし
環境マネジメントシステムの改善	・ 環境内部監査事務局課題に関して改善対応 ・ 環境法令に関する理解向上教育と運用の定着
その他	・ 電力監視モニター活用によるPoint電力の更なる見える化を検討すること ・ 漏気測定と修繕を継続実施すること ・ 汚泥圧縮機の導入検討 ・ 工場照明LED化を進めること ・ 「卒FIT電源を活用したオフサイトPPA」の導入効果を検証すること



2025年度 環境経営目標と活動項目

2024年度活動結果に基づき、2025年度の目標を以下に設定し活動します。

●環境経営目標

項目		目標	
エコアクション21認証更新		環境内部監査実施、外部更新審査受審・認証継続	
2024環境経営レポートの作成と経営層への報告		環境マネジメントレビュー実施、環境経営レポート公開	
環境に配慮した製品製造への取組実施		化学物質の適切な管理の実行	
省資源 省エネ活動	二酸化炭素排出量削減	前年対比原単位△1% 目標原単位	0.568以下
	一般・産業廃棄物排出量削減		146.561以下
	水資源削減		8.679以下
環境法規制および顧客要求事項の遵守		法令遵守評価実施	
環境関連教育の実施		社内教育実施	

●2024年度 環境経営活動計画



■ 二酸化炭素排出量削減活動の継続推進

- ・ 照明のLED化やインフラ設備更新など、中長期目線での更新計画を検討する。
- ・ 工場内における製造設備、インフラ等の電力使用量の見える化を継続検討する。
- ・ 教育等を通じて環境への意識向上を図る。



■ 環境にやさしい生産活動の継続推進と、一般・産業廃棄物および水資源削減活動の継続推進

- ・ 環境にやさしい工法、梱包改善等を推進する。
- ・ 廃棄物の再資源化活動を継続し、拠点間で情報共有・展開を進める。



環境経営計画（中期計画）



60th Anniversary
1965-2025

当社の環境経営に関する中期計画は以下の通りとなります。

重点項目	計画・目標	2022結果	2023結果	2024結果	2025	～2030
●環境マネジメントシステムはSDGsと関連付け、企業価値を高める活動にする	①SDGsの知識習得・社内啓蒙 ②環境経営レポートによるSDGs環境活動公開 ③SDGs宣言（長野県登録制度活用）と取組	①SDGs基礎知識習得 ②2021レポートにSDGs活環境活動公開 ③長野県制度 2022/4/28登録 2022/6/27宣言	①SDGs基礎知識習得継続 ②2022レポートにSDGs環境活動公開	①SDGs基礎知識社内啓蒙実施 ②2023レポートにSDGs環境活動公開	SDGs重点目標達成に向けた取組継続 認証更新	SDGs外部宣言環境目標達成
●環境マネジメントシステム（EA21）の運営を定着し、企業責任を果たす	①外部認証の維持・更新 ②環境経営レポートの作成・公開 ③環境関連法規の適合検証 ④マネジメントシステムの監視	①外部認証維持 2022/8/30～31 受審 2022/10/21 維持 ②2021レポート公開 2022/6/10 ③環境法規制遵守評価実施 2022/4/11～28 ④内部環境監査による運用監視実施 2022/4/18～28	①外部認証更新 2023/8/7～8 受審 2023/10/26 更新 ②2022レポート公開 2023/6/10 ③環境法規制遵守評価実施 2023/4/12～19 ④内部環境監査による運用監視実施 2023/4/18～26	①外部認証更新 2024/8/6～7 受審 2024/10/26 更新 ②2023レポート公開 2024/6/17 ③環境法規制遵守評価実施 2024/5/2～11 ④内部環境監査による運用監視実施 2024/5/22～30	更新	外部認証継続運用
●環境指標（SDGs目標）達成に向けた取組を推進する	■自社設定値：2019年度対比△1%/年 ①二酸化炭素排出量（エネルギー使用量原単位）前年対比△1% ②廃棄物排出量（原単位）前年対比△1% ③水使用量（原単位）前年対比△1% ■経済産業省設定値 ④5年間平均原単位△1%以上/年 ⑤事業者クラス分け制度 Aランク維持	①前年対比 △3.54%：達成 ②前年対比 △2.63%：達成 ③前年対比 △15.91%：達成 ④5年間平均原単位 △1.3%：達成 ⑤Sクラス確定	①前年対比 △5.24%：達成 ②前年対比 △8.03%：達成 ③前年対比 △7.99%：達成 ④5年間平均原単位 △4.7%：達成 ⑤Sクラス確定	①前年対比 △6.51%：達成 ②前年対比 △3.87%：達成 ③前年対比 △7.10%：達成 ④5年間平均原単位 計算中 ⑤Sクラス予定		2019対比 △10% 達成 5年間平均原単位 △1%以上 継続
●省エネルギーへの具体的な取組プランを推進する ●再生可能エネルギーを研究し導入に向けた取組を推進する	①省エネルギーに対する課題・問題意識を持ち、生産活動におけるエネルギー使用量・経費の見える化 ②県・市町村(中小企業)からの再生可能エネルギー情報の収集 ③再生可能エネルギー導入投資効果シミュレーションの実施 ※太陽光パネル導入効果含む	①エネルギーの見える化実施・電力使用量、電力量予測推移見える化 ②情報収集の継続 ③太陽光パネルの導入検討開始	①エネルギーの見える化実施・見える化継続 ②情報収集の継続 ③太陽光パネルの導入検討継続	①エネルギーの見える化実施・見える化継続 ②情報収集の継続 ③太陽光パネルの導入不可 脱炭素	省エネ活動推進 再生可能エネルギーの調査・研究 再生可能エネルギーへの取組推進	再生可能エネルギー導入



SDGs達成に向けた経営方針を策定し活動を推進しています。



SDGs達成に向けた経営方針

当社の経営理念にある「個人の成長が会社の成長」「会社の成長が社会の成長」の理念のもと、「環境」「社会」「経済」の変化に伴う、人類共通の重要課題を全従業員が認識し、企業活動におけるあらゆる面で自主的かつ積極的に活動していきます。目指す姿を実現するため、全従業員がその役割を果たしSDGsの目標達成に貢献していきます。



当社の3つのSDGs重点的な取組と目標値

本社・諏訪工場及び箕輪工場がある長野県の独自制度「長野県SDGs推進企業登録制度」へ2022年4月に登録しました。本制度は3つの重点取組を決め、目標達成に向けた活動を推進しています。

SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	2022年結果	2023年結果	2024年結果
①製造工程において排出される二酸化炭素排出量削減 	2030年目標： △10% （2019年対比） 原単位にて年率△1%	原単位前年対比 3.50%削減 ⇒年率1%削減達成	原単位前年対比 5.70%削減 ⇒年率1%削減達成	原単位前年対比 6.51%削減 ⇒年率1%削減達成
②女性が活躍できる企業づくり 	2030年目標： 女性管理職比率10%以上	女性管理職登用なし ⇒次期管理職育成に向けた教育を実施中	女性管理職登用なし ⇒次期管理職育成に向けた教育を継続中	女性管理職2名任命 比率4.20% ⇒次期管理職育成に向けた教育を継続中
③金属資源を大切に、材料にやさしいものづくり開発で部品・製品を市場に提供する   	2030年目標： 金属資源廃材率15%削減	岩手工場プレス部品単体での取組実施中 ⇒目標達成に向けて進行中	本社・諏訪工場へ水平展開し取組を実施中 ⇒全社での目標達成に向けて進行中	本社・諏訪工場へ水平展開し取組を継続中 ⇒全社での目標達成に向けて進行中



環境活動

2024年度も様々な省資源・省エネ活動を実施しました。

空調更新

2024年に岩手工場では工場内の空調を省エネタイプに更新しました。

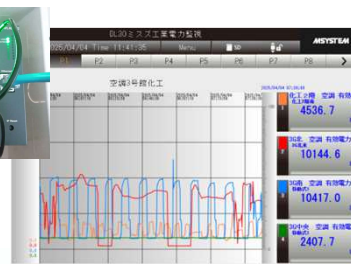


岩手工場
製造エリア
空調機更新



電力管理システムの導入

2024年に、本社工場では電力管理システムを導入し、各エリアの電力使用量が見える化しました。工場社員に対し更なる見える化アクションを継続検討していきます。



施設内照明のLED化推進

2024年度も生産工場や会議室や福利厚生施設の照明をLED化しました。



危険物油類保管庫新設

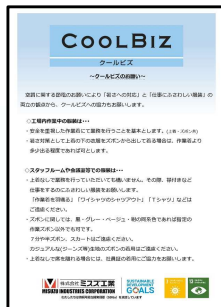
2024年に、岩手工場では新たに危険物保管庫を新設しました。適正な購入量と保管量を維持しています。





COOLBIZ／WARMBIZの実施

2023年度に引き続き、当社オリジナルの「COOLBIZ」と「WARMBIZ」について、全従業員が取り組むことができるよう、服装ルールを明確にし、周知とポスター掲示を行いました。



工場周辺の環境美化活動

毎週水曜日の始業前を「5Sの日」として環境美化活動の協力を従業員にお願いし、実施しています。工場敷地内の草取りやゴミ拾い等を行い、環境保全に努めています。



エコキャップ回収活動

2021年からペットボトルキャップ（エコキャップ）回収活動を推進しています。回収したキャップはエコキャップ回収活動をしている業者様に提供し、リサイクル材として再利用されます。その収益金が様々なワクチンや医療品の寄付金に使用されます。回収活動は今後も続きます。

●エコキャップ提供数

	年度	数量	個数	Co2削減効果	ワクチン数
岩手工場	2021年度	13.5 kg	6,075 個	47.84 kg-CO2	2.30 人分
	2022年度	25.5 kg	11,475 個	90.36 kg-CO2	4.34 人分
	2023年度	27.0 kg	12,150 個	95.68 kg-CO2	4.60 人分
	2024年度	26.0 kg	10,800 個	85.05 kg-CO2	4.09 人分
本社・諏訪工場 箕輪工場	2022年度	33.0 kg	13,200 個	103.95 kg-CO2	5.00 人分
	2023年度	42.0 kg	16,800 個	132.30 kg-CO2	6.36 人分
	2024年度	※提供実績なし、約50kg保管中 2025年度提供予定			
合計		167.0 kg	70,500 個	555.18 kg-CO2	26.69 人分

※計算根拠 1kg=400個 ワクチン1人分=約6.6kg（約2,640個） 1kg（400個）を焼却すると3.15kgのCO2が発生

環境緊急時対応訓練の実施

2024年は環境緊急時対応訓練として「漏洩事故防止教育」を実施しました。環境事務局にて2025年2月～3月の2ヶ月間に、全社員集合による環境教育を実施しました。漏洩発見時の行動、漏洩事故防止のための4ステップ、漏洩事故による3つの企業リスクなどの座学教育を行いました。

●環境緊急時対応訓練実績

年度	訓練内容	訓練形式	実施者（指導員）
2021年度	漏洩対策キット点検	コロナ禍だったため環境内部監査のチェックリストに盛り込み点検を実施	環境事務局
2022年度	↑	↑	↑
2023年度	漏洩対策キット取扱訓練	集合形式での実施を再開	↑
2024年度	漏洩事故防止教育	全社員集合による全体朝会にて座学教育を実施	↑



その他の取組

その他にも環境保全を意識した取り組みを実施しました。

取組内容

- ・空調制御システムの導入検討開始
- ・社用車をハイブリッド車に変更
- ・研修施設の冬季水道停止
- ・凍結防止帯の未使用期間ブレーカーOFF、夏季トイレ便座ヒーターOFF
- ・漏気測定器による真空／圧空配管等の漏れ修繕
- ・工場休日のコンプレッサー＆空調機＆真空ポンプの停止
- ・帰宅時、未使用箇所の圧空バルブの閉栓
- ・空調を節電モードに設定
- ・駐車場照明をタイマー稼働に変更
- ・汚泥圧縮機の導入検討開始



「2024年度 環境経営レポート」を最後までお読みいただきありがとうございます。

引き続き、環境目標達成に向けて様々な取組を進めていきます。



作成：株式会社ミスズ工業
経営管理部（環境事務局）